

〈広報〉  
第3号  
平成21年  
11月10日

# 青山小学校区 コミ協だより

Comi-Kyo-DAYORI in Aoyama elementary school district

青山小学校区  
コミュニティ  
協議会  
新潟市西区青山6-16-20  
☎025 (233) 2990



## 園児盛り上げに一役

# 文化祭

平成二十一年度  
青山コミュニティハウス

文化祭にかわいい助っ人！平成二十一年度の青山コミュニティハウスの文化祭が十月二十三〜二十五日の日程で開かれました。同ハウスを利用してのサークルがけいこの成果を披露する秋の祭典です。今年にはサークルの熱演にまじって聖園マリア幼稚園の園児が賛助出演し、芸能発表会の盛り上げに一役買ってくれました。午前の部、二番目に出演、手づくりのトンガリ帽子とかわいいファッションで登場、園歌の斉唱に次いでトックキキダンスを披露、会場に詰めかけたパパママ、じいちゃん、ばあちゃんから大きな歓声と拍手が送られ、大盛況の盛り上がりでした。三日間の入場者数も前年をはるかに上回る四百八人、文化祭の低調傾向に歯止めをかけたようにと主催者側では広報活動など、あれこれ知恵をしぼってきただけに園児効果にホッとしていました。

作品展には書道、生花、工芸各部門に八団体が出品しました。  
(二頁へ続く)

## 管理人が交代しました

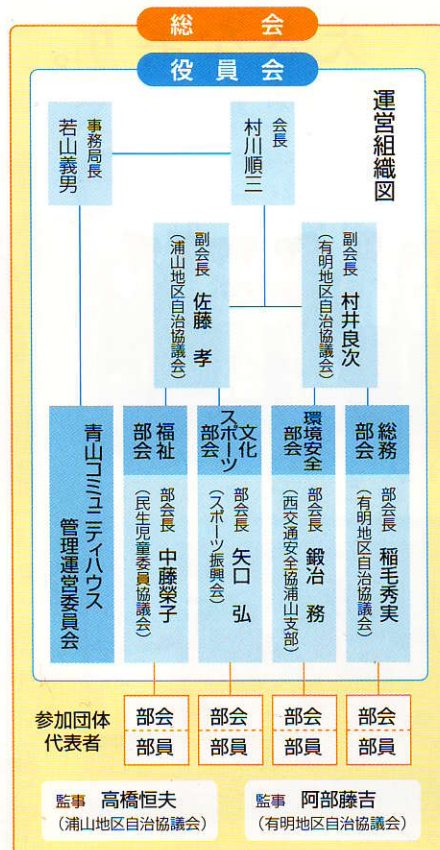


田中文代さん  
よろしく

青山コミュニティハウスの管理人が交代しました。前任者が7月いっぱい退任、8月から新しく浦山10区の田中文代さんが就任しました。3人の交代勤務。「はじめは不安もありましたが、文化祭行事も無事乗り越えられてホッとしています。まだ、3ヵ月ですが、日々新しい発見があってやりがいがあります」と張り切っています。

## 青山小学校区コミュニティ協議会総会

発会四年目、区政と協働の目指すべく  
青山小学校区コミュニティ協議会の平成二十一年度総会が六月二十八日開かれ、浦山、有明両地区の自治会長、各種団体代表ら約五十人が出席しました。同会は四年目に入り、多彩な事業計画を策定、区政と有機的連携をとり、幅広い活動を推進していくことを確認。発会後、会長宅に置いていた事務局を青山コミュニティハウス内に移すことも決めました。





2009

# 文化祭

青山コミュニティハウス

芸  
と  
作  
品



コーラス有明

平成21年  
10月23日～25日

- ◆ 作品展  
10月23日～24日
- ◆ 芸能発表会  
10月25日



親和カラオケ



日ごろの精進、  
大きな実り。



尺八の会・箏の会



はまなす会



まつの会



親和会民踊



有明フラダンス



千鳥会

# 社会人の出会いと笑顔の大切さ

七月二十五日、浦山地区自治協議会、関屋掘割町自治会長の相馬哲さん(七二)の福祉講演会がシルバートピア石山で開かれました。講演要旨を紹介します。



い挨拶と笑顔の大切さを強調した。夫婦関係について「日本人はなかなか人のほめない、きょうのおまえはきれいだな、この一言が「金」、実践してみてください」と呼びかけた。人間の脳の低下は五十歳前後から始まる。「人の名前が出てこない」などが主な症状で「自転車に乗って出かけ、バスで帰ってくる」などと話すと会場からは笑いが漏れ、うなずく人も。最後に「いつも笑いを忘れないこと、『笑う門には福来る』と言いますが、どんなに笑ってもカネはかからない、赤ちゃんの笑顔は天使のほほえみ、子供の顔には親の心が反映されている」と締めくくった。

満面に笑顔で登壇した相馬さんは開口一番「皆さん元気ですか」。会場から反応があると、さらに「友達を大切にしていますか」「仲間で笑顔で接していますか」、続けて高齢者を気づかて「おもしろしは困りますから、トレイは自由には」とユーモアたっぷりの突っ込みで会場は一気に和やかムードに。ようやく、本番に入り「近年、身内の殺人が多発している。親が子を、子が親を、夫が妻を…痛ましいことです」と生命の尊さを説いた。年間三万人を超える自殺者数について「これは交通事故死の三倍、命の大切さをもっと家庭、学校で教えていかなければ：知識偏重になりがちな学校教育は見直しが必要」と力説した。痛ましい事件の背景について、人間関係の希薄さを指摘し、さりげな

い挨拶と笑顔の大切さを強調した。夫婦関係について「日本人はなかなか人のほめない、きょうのおまえはきれいだな、この一言が「金」、実践してみてください」と呼びかけた。人間の脳の低下は五十歳前後から始まる。「人の名前が出てこない」などが主な症状で「自転車に乗って出かけ、バスで帰ってくる」などと話すと会場からは笑いが漏れ、うなずく人も。最後に「いつも笑いを忘れないこと、『笑う門には福来る』と言いますが、どんなに笑ってもカネはかからない、赤ちゃんの笑顔は天使のほほえみ、子供の顔には親の心が反映されている」と締めくくった。



有明地区防災訓練  
西区有明地区自主防災会(村井良次会長)の第7回防災訓練が9月13日、青山小体育館を会場に行われました。小雨模様のあいにくの天候の中、同地区8自治会、福祉タウン施設の入所者ら約350人が参加しました。訓練は初期消火、心肺蘇生の応急処置、煙体験など多岐にわたり、車いすの操作や応急担架づくりにもテキパキと取り組んだ。新潟市に配備されている特殊工作車もお目見えし、災害時の心構えを新たにしていた。

# 講演会「支え合う地域づくり」

西有明町福祉の会は、十月三日、有明福祉会館で、講演会を行った。講演者は、元まごころヘルパ代表「うちの実家」代表河田珠子さん。平成五年、当時民生児童委員の高野さんが中心となつて立ち上げた「西有明町福祉の会」が設立十六年。自治会内の高齢化、小家族化、単身化が急ピッチで進んでいます。担い手も変わり、設立当時に立ち返って「福祉の会の意義」を再確認するために、「支え合う地域づくり」の講演を聞きました。参加者は五〇人。



「たすけて」と言える人、「たすけて」と言われる人に、そんな隣近所に。家の前の道路(小路)は、施設の廊下と思つて：等うなずきながら聞き入りました。各家庭の子供達が巣立った後の長い時間を住み慣れた地域で、よりよく暮らすために「福祉の会」の意義を再確認できました。

# たしかめて もしもの備えと避難場所

(防災標語優秀作品 橋立英樹さん)



浦山地区防災訓練  
西区浦山地区自主防災会(佐藤孝会長)の第3回防災訓練が9月27日、やすらぎ公園を主会場に行われました。絶好の秋晴れに恵まれ、13自治会・町内会から約400人が参加。各自治会単位で安全確認、避難行動を整然と行った後、のぼり旗を立てて午前10時やすらぎ公園に集合、応急手当には小学生の子供たちも積極的に参加し、真剣な表情で命の大切さと向き合っていた。

# ちょっとだけ元氣塾

「住み慣れた地域で、健康に年を重ねたい」「老後の生活をちょっとでも明るく、楽しく過ごしたい：」の願いがこめられた「ちょっとだけ元氣塾」が、九月七日、有明福祉会館で開かれた。和みの部屋「青山」、青山小学校区コミュニティ協議会、西区健康福祉課の共催、六〇人が参加しました。まず、栄養士さんは、人の生活三要素「栄養・運動・休養」がバランス良くおこなわれることについて触れ、そのうちの「栄養」は、高齢、小家族、ひとりになると「食べ物」が片寄りがちになったり、食欲が低下して、時に栄養失調になることもあるので、要注意です」と話されました。続いて保健師さんによる「脳活性化ゲーム」。大きな輪になり、おてだま送り。「はじめは右おくり、はい持ちかえて、反対に」「え?」「ほれ、こっちだて」「あはは」「おほほ」と大きな笑いといっぱい元氣になりました。



# 浦山地区ふれあいの集い

「今年もお会いできて…」  
 平成二十一年度新潟市西区浦山地区の「ふれあいの集い」（青山小学校区コミュニティ協議会など主催）が九月十四日開かれ、七十五歳以上の高齢者百四十四人が集まりました。昼食をとりながら歌や踊りのアトラクションを楽しみ、和やかに交流し、初秋の一日を堪能しました。

浦山地区自治協議会の佐藤孝会長が「何よりも健康第一です」と歓迎のあいさつ、次いで西区役所の澤田副区長が「皆さんは人生の達人、これからも長生きして貴重な経験を区政のために役立ててください」とお祝いの言葉を述べました。


アトラクションではまつの会が民謡を披露し、鎌原久子さんがプロ顔負けのカラオケを熱唱。来年について佐藤会長が「継続は力なり」と開催を力強く宣言し、閉会となりました。



# 信濃川クリーン作戦



「信濃川クリーン作戦」が7月26日、新潟市西区の関屋分水路で行われ、地区住民約60人が参加した。「信濃川をきれいにする会」に青山小学校区コミュニティ協議会が協力して実施している夏の恒例行事。午前6時、さわやかな空気の中で作業開始、2班に分かれ、土手のゴミを拾い「セキヤ分水」の花文字周辺の一部草取りも実施した。



## 浦山地区 防火連合会が 敢闘賞

**平成20年  
ファイヤーコンテスト**

新潟市の平成20年ファイヤーコンテストで、浦山地区防火連合会（相馬哲会長）が敢闘賞に選ばれ、表彰されました。同連合会の平成20年の火災ゼロ、平素の防火活動の実績に加え、平成23年から義務化される住宅用火災警報機の設置状況に対する取り組みが評価されたものです。

## ハウス隣接地に駐車スペース確保

青山コミュニティハウスはマイカー利用者の要望に応え、八月から隣接地に駐車スペースを確保しました。収容台数は十台。かねてからマイカー利用者から強い要望があり、民有地を借り受け対応したものです。当分の間は一団体につき三台まで、三台を超える場合は、管理人の了解が必要です。

## 和室A・Bに座いす設置

青山コミュニティハウスは効率的な予算計画をたて、施設の環境整備を年次的に進めています。今年度は和室A・Bに座いすを

設置し、和室Bの畳の入れ替えを実施しました。今後は事務室のコピー機の更新などリース対応も含め、検討を進めています。

## 青山コミュニティハウスにAED設置へ

青山コミュニティハウスに近くAED（自動体外式除細動器）が設置されることになりました。AEDは突然の心臓停止から救急車が到着するまで、蘇生法を駆使し、命を救う救急救命装置です。同ハウスでは西区役所と協議し、設置に取り組んできました。

# 青田ニハサマサークル

## 和道会空手教室

子供を対象にした空手教室です。ケガをしないよう、楽しんで長く続けられることを指導方針としています。



心身ともに強くしたい、そんなつもりで始めるのが最終目標です。はじめは、空手の技や型を教え込むことで、体の動きやバランスを身に付け、次いで自分で考え判断することを練習します。次の段階で組手へと段階的に進んでいきます。一度、気軽に無料体験してみませんか。

週一回、木曜日（夜七時～八時半）、土曜日（夜六時～七時半）随時募集。

問い合わせは〇九〇―三四〇―一三二〇五（平出）まで

## タイ式楽らくくヨガヘルシーダットン

インド式ヨガの究極の達人はお釈迦様です。お釈迦様が修行で凝り固まった体をほぐすために医師でもあった弟子、シバカによって編み出された体操が自己整体体操でした。のちにシバカがタイに移住し、普及したのでルーシーダットンと呼ばれるようになりました。体の硬い方、運動が苦手な方、年配の方でも楽しめます。「楽しく、気持ちよく、無理のない動き」で本来の姿勢に近づけていきます。自分自身の「体の声、心の声」を聞き、自分にあった動きと呼吸法を行います。体の歪みが整ってくると内臓の動

